

事業所名

ステップ

支援プログラム

作成日

令和8年

1月

1日

法人（事業所）理念・目標		子どもたちに寄り添い、子どもたちの笑顔があふれ、楽しく安心できる居場所となるよう、未来に向かって成長していける環境を整える									
支援方針		・子ども主体で、成長を第一に考えます。 ・ほめて励まし、長所を伸ばします。			・無理強いはしません。 ・心配り、目配り、心配りを怠りません。						
営業時間		平日 学校休業日	10 9	時 00	分から	18 17	時 45	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容											
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康な心と体を育て、健康で安全な生活を作り出すことを支援する。 睡眠、食事、排泄等の基本的な生活習慣を形成し、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身に付けられるよう支援する。 子どもが食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、身の回りを清潔にすること等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう適切な支援をする。 自己の行動や感情を調整したり、他者に対して主体的に働きかけたりしてより生活しやすい環境にしていくための支援をする。 									
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。 姿勢保持装置など、様々な補助用具等の補助的手段を活用してこれらができるよう支援する。 自力での身体異動や歩行、事業所外での移動や交通機関の利用など、社会的な場面における移動能力の向上のための支援を行う。 保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。 									
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の認知の特性を理解し、それらを踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援する。また、こだわりや偏食等に対する支援を行う。 視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、これらの感覚から情報が適切に取得され、認知機能の発達を促す支援を行う。 取得した情報を過去に取得した情報と照合し、これらの情報を的確な判断や行動につなげることができるよう支援を行う。 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援を行う。 									
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 障害の種別や程度、興味・関心等に応じて、言語、表情、身振り、各種の機器等を用いて、コミュニケーションに必要な基礎的な能力を身に付けることができるよう支援する。 話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出することができるよう支援する。 場面に応じた言動・対応など人との関わり方についての学び等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。 指差し、身振り、サイン、音声、文字、触覚、平易な表現等による多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。 									
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> こどもが基本的な信頼感を持つことができるように、環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援を行う。 自分の感情や気持ち、生理的な状態像に関心を持ち、その変化の幅を安定させることに興味を持つことができるように援助し、安定した情緒の下で生活ができるよう支援する。 他者の気持ちや意図を理解し、他者からの働き掛けを受け止め、それに応ずることや場に応じた適切な行動ができるように支援する。 遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性の発達や対人関係の構築を支援する。相互理解や互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながるよう支援する。 									
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> こどもの感情や不安に寄り添い、家族や周囲の人と安定した関係を継続するための支援 家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 具体的な移行や将来的な移行を見据えた子供の発達の評価・支援 併行利用先とのこどもの状態や支援内容の共有 地域の学校や放課後児童クラブ、児童館、地域住民との交流 				
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> こどもが通う学校や放課後児童クラブ等との情報連携、相談援助、放課後等デイサービス計画の作成・見直しに関する会議の開催 個別のケース検討のための会議の開催 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 全社員研修や事業所内研修により職員の知識・技術の向上を図る 外部研修への積極的な参加 虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会等により意識の向上を図る 				
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 支援における5領域を踏まえた日々の療育活動 博物館、資料館、工場等の見学 お買い物体験 季節の花や植物に触れ、自然を感じる活動 お正月遊び、節分、ひな祭り、お花見、こいのぼり制作、七夕、ハロウィン、クリスマス、年末大掃除等の季節行事を通じて日本の文化や季節感を学ぶ活動 食育 など 									